



石臼の目立て完了！！ 2019 年 12 月 16－17 日
高松市牟礼町「大川石材」さんと友の会 記念撮影
(撮影緒方正則氏)

高原水車

高原水車友の会通信（第14号）

高原水車友の会
高松市六条町 672
高原水車場

◆第7回総会中止のお知らせ



題字 森佐知子
カット 平田真咲

高原水車友の会 第7回総会は、 中止いたします。

5 月に予定していました総会は、新型コロナウイルスの感染状況を考え、中止します。そのため、緊急企画委員会を開き、議案を審議いたします。ご了承お願いいたします。議事録・報告書をお送りしますので、ご意見ご要望などお寄せ下さい。

予定していた特別報告（下記）は秋以降にご案内いたします。引き続きご支援よろしくをお願いいたします。

「石臼の目立てについて」

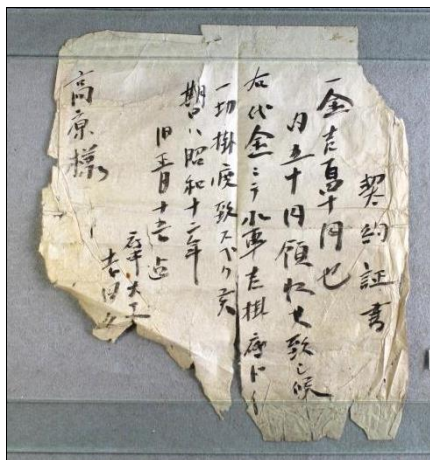
大川石材社長大川弘展氏

「水車・歯車・石臼そしてガンドが動き始める」

野瀬秀拓氏（水車大工棟梁・福岡県久留米市）

高原様

一金壹百四十円也 内五十円領収致候
右代金 水車寄掛底ドイ一切掛渡スべく候
期日 昭和十二年旧正月十五日迄
府中大工 吉田久吉



「契約証書」 昭和12年1月、高原水車は
府中水車大工吉田久吉氏と水車と底樋修理
の契約を交わしている。

ひとくちメモ

— 高原水車収蔵資料より

第7回総会中止のお知らせ	1
ひとくちメモ	1
石臼目立て作業	2
歯車と石臼が繋がる	3
雛祭り茶会	7
助成金を受ける	7
受賞 高松市美しいまちづくり賞	7
「れきみん第30号記念号」発刊	8
活動日誌	8



石臼目立て作業

2019年12月16日・17日



☆二人の石工マイスターに、池森先生は次々質問を投げかける。直線の溝はもちろん、表面全体に細かくたたいて筋を付けて行く作業に驚く。汚れていた石の表面が、たちまち白く光ってきた。同じ姿勢での厳しい長時間作業に感嘆。



石臼の直径 640 mm。



石臼四面を2日間で仕上げた。手作業で「キンキン」「コンコン」と規則正しい鑿の音が響いた。一つは「犬島」の石、他は「宇野」の石らしい。「宇野」の石は高い金属性の音を立てた。

歯車と石臼が繋がる

2020年1月16日・17日・18日

福岡県久留米市から香川へ通い続けて高原水車の復元に力を尽くしている水車大工野瀬秀拓氏にとって、この日は、何度目かの記念すべき日となりました。もちろん水車友の会にとっても喜びひとしおでした。

水輪に連動する複雑な歯車（万力）と、目立てを終えた石臼が繋がり、まるで生き物のように動き始めました。わずかですが、粉も碾けました。

◆石臼の周りの土台（タタキ）を造り直すため、古い土を掘り起こし、篩に掛ける



石臼の周りをタタキ（三和土）で固める



◆石臼を設置



奥は上臼を下臼に載せる作業（すでに下臼の周りの粉桶と心棒は取り付け済）



石臼外周の4つの穴に角材を挿入、板の上を滑らせながら、定位置に運んだ。



上臼の周りに4つの引き木（臼歯車と上臼を繋ぐ部品）を配置し、臼歯車を装着。回転は反時計回り。



石臼の厚みを測る。約1尺。



早速、バネ秤でなにやら計測？上臼がどの程度の力で回り始めるかチェック！



◆歯車（万力）を設置する
歯車が到着
2020年1月16日



重い歯車を持ち上げて定位置に設置組立

歯車（万力）を組み立てる野瀬秀拓氏と翔平さん



水車の心棒を打ち込み、楔で締め付ける作業。



歯車の受け台をしっかりと固定。



ガンド（篩）へ通じる回転軸の作動状況を点検中 池森先生と友の会。



小麦粉の排出口を掃除中。



長い漏斗（ロート）の下にあるホッパー（四角錐）の取り付け。



臼を手回しして製粉



水車と歯車群（万力）と石臼の組立完了！！ 三つが連動して動く様子に歓声が上がった。まだ水車回転は人力で慎重に。疲れるウ～（左上）歯車を手で動かし（反時計回り）粉の出る様子を見ている。（左下）ホッとする友の会と大工さん（1月18日）



大小の歯車と石臼の噛み合いの調整作業に集まる。

◆さらに調整を
2月20日
ついに水力で、石臼を回して製粉



加水した小麦を準備し、動く石臼に投入をくり返している内に白い小麦粉が出て来た！ まだ篩は手作業。水量の調節、臼の回転スピードの微調節が課題である。





雛祭り茶会

2月29日 会費300円



薄暗い水車場の和室が、雛飾りと御抹茶の席に変わりました。結構なお点前と一服に感謝！

亘って助成を受けています。

また、福武財団からは複数年に

からも助成を受けました。

百十四銀行学術文化振興財団」

なおこれまで、「一般社団法人

明器具設置費等に活用します」

財団（水車場の安全な展示用照

明器具設置費等に活用します）

財団（水車場の安全な展示用照

明器具設置費等に活用します）

財団（水車場の安全な展示用照

明器具設置費等に活用します）

明器具設置費等に活用します）

明器具設置費等に活用します）

明器具設置費等に活用します）

明器具設置費等に活用します）

明器具設置費等に活用します）

明器具設置費等に活用します）

明器具設置費等に活用します）

明器具設置費等に活用します）

明器具設置費等に活用します）

明器具設置費等に活用します）

明器具設置費等に活用します）

明器具設置費等に活用します）

明器具設置費等に活用します）

明器具設置費等に活用します）



受賞

「高松市美しいまちづくり賞」

2月14日に表彰式が行われ、「友

の会」からは、堀家みどり（友の会副

会長）と川崎正視（友の会企画委員長）

が参加しました。賞状と盾をいただきました。

毎年「高松市美しいまちづくり条例」によって、美

しいまちづくりに寄与し貢献していると認めら

れる個人や団体が表彰されます。「高原水車友

の会」は、活動部門において、功績が認められま

した。（都市整備局都市計画課景観係担当）



前列中央は大西市長。左から2人目が堀家（和服）
後列左端が川崎。5人目が創芸久保氏（高原水車復元にも参加）

建築物関係6グループ、活動関係2グループ
（高松市ホームページで作品集が見られます）

「れきみん」第30号記念号

頒価200円

令和2年3月31日



高松市歴史民俗協会（会長千葉幸伸氏）会報「れきみん」第30号記念号が発刊され、「高原水車友の会」も協会の加盟団体16の中に入れていただき、文章を寄せました。巻頭に名誉会長松平頼武氏が、「高松城跡に想う」を寄せています。「高原水車友の会」では「讃岐六条の水車復元と保存」を書きました。加盟団体として活動助成金をいただいております。冊子の販売など協会の活動に協力していきたいと思えます。表紙の写真は、讃岐漆芸の祖といわれる漆芸家玉椿象谷作の工芸品。

会費納入のお願い 振込用紙を同封しました。

会員の皆様へ

2020年度会費（1000円）の納入をお願いいたします。振込手数料が高くなり恐縮です。手渡しのできる方はなるべく手渡し願います。

見学者

12月16日

香川高専の先生方が水車を訪問されました。

池森先生、野瀬大工とも懇談。石臼目立ても見学。

今後、高原水車が若い人達とつながって行き、水車の存在が、学生さんの学習に役立つとうれしいです。

石渕巧氏来訪

3月21日

祖父常吉氏は、明治・大正時代に由佐の水車大工として全国的に活躍していました。高原水車もお世話になりました。孫の巧氏も父親について水車作りの手伝いをしていたそうです。急きょお願いして、野瀬大工と会ってお話しを



お聞きしました。

後記

昨年末には想像もしていなかった「新型コロナウイルス」の流行が身のまわりに迫り、制限の多い生活となっています。そのため、公開日に帰れず、三木町で用意していただいた公開講座「動き出した水車」も延期となりました。何よりも皆様方のご健康をお祈りいたします。

友の会会長 平田恵美

活動日誌

2019年秋冬

- 10/10 公益信託大成建設自然・歴史環境基金から2019年度助成金給付決定
- 10/26 サックス奏者岡淳氏来訪演奏
- 11/6 蕎麦の苡り取り、竿に架けて干す
屋外トイレ浄化槽設置工事を始める
- 12/16 香川高専先生方来訪
- 大川石材さん石臼目立て

2020年冬春

- 1/11 福武財団助成金申請のため、プレゼンに参加。審査員からコメント
- 1/16〜18 歯車石臼調整、回転
- 2/14 「高松市美しいまちづくり賞」受賞式に参加
- 2/20・21 水車・歯車・石臼回転
粉を碾く
- 2/29 水車場で「雛祭り茶会」催す
- 三木町文化財公開講座延期（コロナウイルス流行のため）

石臼周辺整備（コンクリート）

水車大工子孫石渕氏来訪

高原水車友の会 連絡先

0877(33)4601 堀家